

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成29年度】

6 子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)

事業概要	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業(短期入所生活援助事業(ショートステイ事業)及び夜間養護等事業(トワイライトステイ事業))
事業目的 (目指すべき目標)	家庭で児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設その他の保護を適切に行うことができる施設において一定期間、養育・保護を行うことにより、児童や家庭の福祉の向上を図る。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	児童養護施設等との委託契約により事業を実施する。

事業費(円)			平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 予算	平成29年度 決算	平成30年度 予算	平成31年度 予算
	事業費				316,000	411,307	316,000	
特定 財源	国庫支出金				84,000	116,000	84,000	
	道支出金				84,000	116,000	84,000	
	その他							
	一般財源				148,000	179,307	148,000	

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	実利用人数	人			3	6	6
【特記事項】							

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	実利用人数	人			3	6	6
【特記事項】							

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	年:実利用人数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
★事業計画策定済み★	需要量の見込み(人)	20	20	20	30	30
	確保方策	事業化について調査・研究する	必要な場合は、実施体制の確保を検討する	事業開始 委託施設:児童養護施設1施設	委託施設:児童養護施設2施設	委託施設:児童養護施設2施設
	実績			3		

<確保方策>  
事業計画から抜粋 本事業は平成29年度から事業開始しましたが、市内には児童養護施設がないため、市外の児童養護施設に委託しています。今後においては多様なニーズに対応し、より利用しやすい事業になるよう、委託施設の増加について検討します。

【事業評価】							
A: 事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。				B: 事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。			
C: 事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。							
事業実施者による事業評価					A		
小樽市子ども・子育て会議における事業評価					A		

◆平成29年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)  
実利用人数としては見込みを下回ったが、3人で延49日間の利用となり、保護者のニーズに対応できた。関係機関から当該事業の利用に関する問合せが増加しており、子育て支援の強化に繋がっている。

◆平成30年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)  
昨年度の委託施設は1施設(仁木町銀山)であったが、児童の送迎の利便性を図るため、委託施設の拡大(札幌市の児童養護施設)を図る。